

## 令和 3 年度定例会 3 月会議開会挨拶（令和 4 年 3 月 8 日開催）

令和 3 年度定例会 3 月会議の開会にあたり、ご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の猛威は未だ収束する気配が見られず、PCR 検査をすり抜ける「ステルス・オミクロン」の出現もあり、感染力が高く、第 6 波がさらに長引くと懸念されております。3 回目のワクチン接種計画も進んでおりますが、感染予防の基本となる、「三密」をできるだけ避け、「手洗い・うがい・消毒」の連行をさらに周知徹底し、引き続き細心の注意を払って対処していかなければなりません。

2 月 24 日、ロシアがウクライナの主権・領土を侵害し軍事侵攻した突然の報道は、世界中を震撼させました。世界平和への願い、国際秩序の根幹を揺るがす重大な造反であり断じて容認できるものではありません。

特に、核兵器使用への言及・原発施設への攻撃は、第 2 次世界大戦の苦い経験を経て、唯一の原爆被爆国であり、核兵器廃絶と恒久平和を希求する日本国民の心をも踏みにじるものであります。

厳重に抗議の姿勢を示し、完全撤退に向けた早急な外交努力の展開を強く求めています。

今、3 月会議は、町政執行方針に示された重要案件に係る各会計の新年度予算を審議する重要な議会であり、活発な議論が展開されます事を願っております。

政策については、行政評価に繋がる事を意識し、計画精度を高める努力が必要であり、予測される厳しい財政状況に充分配慮し、「最小の経費で、最大の効果」を念頭に算定根拠を明確にし、理解を得て共通の認識を持つことも大切ですし、議会・行政ともに政策の過程をさらにわかりやすく町民の皆様を示していくことも重要です。

地方自治体における不祥事が相次ぎ憂慮すべき状況が報道されております。

町づくり、議会両基本条例に基づき、町民との協働のまちづくりを目指す、行政・議会は、公正・公平を肝に銘じ、町民の模範となるよう規律を遵守し、情報を適確に発信し、共有することをあらためて心掛けなければなりません。

福島町議会としても、町民の信頼を裏切ることなく、負託に応えるため一層研鑽に励み、課題に向かって着実・果敢に活動を続けていかなければならないと思っております。

例年になく厳しい豪雪が続き、過去最高の除排雪予算を計上する状況となり、異常気象による農作物・漁獲量への影響等、不安な状況が続きますが、3 月 5 日の啓蟄も過ぎ、風も緩み、春の便りが聞かれる時節となりました。

出席者各位には、健康に留意され、お体ご自愛の上、本定例会の議事運営にご協力いただきますよう、お願いを申し上げ開会の挨拶といたします。